

H24. 3. 31

# 「病診連携」と「診診連携」



長尾和宏 (ながお・かずひろ)  
 東京医大卒業後、大阪大第二内  
 科入局。平成7年、尼崎市で「長  
 尾クリニック」を開業。外来診療  
 から在宅医療まで「人を診る、総  
 合診療を目指す。医学博士。労働  
 衛生コンサルタント。53歳。プロ  
 グ (<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>)  
 が好評。



「医者選び」シリーズ⑤

単なる風邪で大病院を受診される患者さんがおられます。まあ、比較的元気な方だと思われま(笑)。しかし、「本当に風邪かどうかは診てみないと分からない」といわれればその通りなのですが、待ち時間が長くなり、診察時間が短くなります。

「国民皆保険制度」の柱のひとつはこの「フリーアクセス」です。保険証1枚で全国各地の病院でもかかれるという素晴らしいシステムを持つ

## 病院と診療所の二本立ての時代

た国は地球上で日本だけで診られる患者さんがおられます。しかし風邪の患者さんがたくさん大病院に来られると、大病院でしか診療できない難しい病気の患者さんの待ち時間が長くなり、診察時間が短くなります。

病院には、それぞれの機能があります。がんや心筋梗塞、脳梗塞を専門に診る病

院の診察券さえ持っていれば、必ず入院させてくれると信じています。なかにはその

「病診連携」と言います。蛇

診察券を作るために、わざわざ風邪で大病院を受診される方さえいます。

しかし最近、病室が常に満床で診察券を持っていても入院できない場合が増えてい

ます。また診療所からの紹介状(診療情報提供書)を持たない患者さんには、通常の診察代とは別に特別料金を徴収してもいい規則になっていま

院。糖尿病や甲状腺を専門に診る病院。そんな中、大病院のような大きな総合病院は、患者さんには一見、デパートのように見えるかもしれ

ませんが、しかし一歩中に入ると細かな診療科に分かれていて、いわゆる「臓器別の縦割

りつけ医」という方がおられます。急病になったときに大病院の診察券さえ持っていれば、必ず入院させてくれると

**診療情報提供書**  
 医師が他の医師へ患者を紹介する場合に発行する文書。症状・診断・治療など現在までの診療の総括と紹介の目的などを書く。新しい施設で改めて検査や診断の無駄が省かれる。診療報酬は250点だが、健康保険が適用される。

ひよっく